

広報・事務局

< 第21回通常社員総会の報告 >

昨年度に続き、コロナ禍対応として、原則書面評決とした第21回社員総会は、6月25日(金)本部事務局で開催され、社員会員34名中、本人出席3名、オンライン参加1名、書面評決22名 計26名、及び、事務局ボランティア1名参加のもと、議長/高山、書記/藤川(事務局ボランティア)、議事録署名人/香月・山崎で、前年度事業及び決算報告、本年度事業計画及び活動予算案計4議案について審議いただき、すべての議案を賛成多数で可決しました。

社員会員の皆様、書面評決葉書返送等のご協力ありがとうございました。なお、前年度事業報告の際には現地パートナーPIHSのハッサン、PFP ビビアンさんの逝去に触れて、感謝とともに改めてご冥福をお祈りしました。

以下、主な質疑応答と、議案の追加説明について記させていただきます。

(質) 教育支援事業のうち、COWHED経由の奨学生現況について

(答) 2019年度支援のチョピンレットは2020年5月に卒業したが、COWHEDから新規支援要請はない。COWHEDマネージャー・ジェナリンさんは多忙のためか現況報告等も少なく、チョピンレット支援も前マネージャー・ジェマさんの協力で実施できた経緯がある。

< 事業計画案の事務局運営に関する追加説明 >

約7年間勤務いただいた非専従スタッフ関さんの退職申し出(6/4付)により、代表が兼務する専従、特にデジタル化対応面で補佐できるスタッフの雇用を急ぎたい。



対面審議に参加の(左から)高山・藤川・香月(撮影/山崎)

< お知らせ・報告 >

* 月例会 : 7/23, 8/27, 9/24 各第4金曜日 (13:30-15:00)

会場 : 本部事務局(対面、オンライン併用です。ただし、コロナ感染の大幅拡大時は対面はなしとします。)

< 感謝 >

* 一般寄付・助産所診療車など使途特定寄付・未使用切手等のご寄附ありがとうございました! ('21.4.23 ~ '21.7.22) 社員会員、定期支援賛助会員の皆様には、会費に加えて、上記の各種ご寄附をありがとうございました。

ここでは随時ご協力の賛助会員、及び、市民の皆様のご寄附について、お名前を記載させていただきます。(敬称略)

(個人情報保護のため、ホームページ用にはお名前削除させていただきました)

その他・現地へのご協力ありがとうございます!

神奈川県立小田原高校有志の生徒さんたち(担当:奥山先生)から、フィリピンの貧困児童について、支援を通じて学ぶ機会がないかと、当団体ホームページにある歯ブラシ寄贈に関する問い合わせをいただきました。ニーズが大きい現地組織として「先住民学校/ILS」を紹介、7月1日付で歯ブラシ・文具など第1便発送済の連絡をいただきました。コロナ禍でまだ物流の滞りがあるかもしれませんが、時間がかかっても無事子どもたちのもとに届けられることを願っています。

< 事務局 日誌より >

4/7/13/22, 5/18/21/26 海外送金 (ILS/PIHS/TBA/SCMSI/CMIP) 5/6-15 総会議案審議のためのメールによる持ち回り役員会

5/11 法人市民税免除申請提出 5/14 NGOの開発援助実績調査(外務省)に回答 5/17, 7/3 更新作業(高山) 5/28, 7/23 オンライン月例会(高山・相田・山崎)

6/2 R3年経済センサス・活動調査提出 6/24 労災保険申請・納入 6/25 通常社員総会

6/26 市民局へNPO法人年次報告書提出 7/5 区民活動支援センター登録更新 7/15-25 106号編集(恩田・相田・事務局)

< 会員情報 >

('21.7.22 現在)

<退会> 賛助6 (長期にわたるご協力ありがとうございました) <会員総数> 社員34 賛助175 (うち定期支援142)

< 会員募集 >

医療や自立事業支援会費:	月額1,000円	(年12,000円)
教育全体支援会費(又は小学生奨学金・給食支援):	月額500円	(年6,000円)
ハイスクール生徒奨学金支援会費:	月額1,500円	(年18,000円)
カレッジ学生奨学金支援会費(新規支援について):	月額4,000円	(年48,000円)
あしなが奨学金(ブラクール出身カレッジ学生全体支援):	月額2,500円	(年30,000円)
チボリ子ども支援(SCMSI校運営支援、里子支援):	月額2,000円	(年24,000円)

(上記支援会費に加え、運営費充当の月500円をご負担いただく社員会員も募集しています)

< 編集後記 >

P1 末尾で現地訪問に触れたので、改めてパスポートを確認してみました。年2回ペースの入国印の最後は2016年6月です。現大統領就任前でした。現地が遠くなる中、日々受信の現況報告が活動のモチベーションとなっています。(山崎)